

## 6.8.2 土壌

## (1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.2-1 に示すとおりである。

表6.8.2-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度</li> <li>・地下水及び大気への影響の可能性の有無</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく手続き、調査を実施した。</li> <li>・工事中に土壌汚染が新たに確認された場合は、速やかに土壌汚染対策を実施するとともに、その内容をフォローアップ報告書において明らかにする。</li> </ul>

## (2) 調査地域

調査地域は、計画地とした。

## (3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.2-2 に示すとおりである。

表6.8.2-2 調査手法

調査事項	土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度 地下水及び大気への影響の可能性の有無	
調査時点※	基礎工事、山留工事、掘削工事中の2018年1月から2019年12月末とした。	
調査期間※	予測した事項	基礎工事、山留工事、掘削工事中の適宜とし、2018年1月から2019年12月末とした。
	ミティゲーションの実施状況	基礎工事、山留工事、掘削工事中の適宜とし、2018年1月から2019年12月末とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

※「大会開催前その1」(平成30年4月公表)において、2017年12月末までの状況を報告済みであるため、調査時点及び調査期間は、2018年1月から2019年12月末までの期間とした。

## (4) 調査結果

## 1) 調査結果の内容

## ア. 予測した事項

## (ア) 土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度

市街地再開発事業計画地については、土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく手続きを行い、土地利用の履歴から土壌汚染のおそれがあると考えられるエリアにおける土壌汚染状況調査を実施した。調査の結果、土壌溶出量及び土壌含有量ともに定量下限値を下回っており、土壌汚染は確認されなかった。

市街地再開発事業計画地以外については、土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく手続きを行い、土地利用の履歴から土壌汚染のおそれはないものと考えられた。

また、工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

## (イ) 地下水及び大気への影響の可能性の有無

「ア) 土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度」に示したとおり、工事の着手前に実施した土壌汚染状況調査の結果、土壌溶出量及び土壌含有量ともに定量下限値を下回っていた。また、工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

## イ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表6.8.2-3に示すとおりである。

土壌汚染に関する問合せはなかった。

表6.8.2-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく手続き、調査を実施した。</li> </ul>	土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく土壌汚染状況調査を実施した。調査の結果、土壌溶出量及び土壌含有量ともに定量下限値を下回っており、汚染土壌は確認されなかった。 (「大会開催前その1」で報告済み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中に土壌汚染が新たに確認された場合は、速やかに土壌汚染対策を実施するとともに、その内容をフォローアップ報告書において明らかにする。</li> </ul>	工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

(ア) 土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度

土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく手続きを行い、土地利用の履歴から土壌汚染のおそれがあると考えられるエリアにおける土壌汚染状況調査を実施した。調査の結果、土壌溶出量及び土壌含有量ともに定量下限値を下回っており、土壌汚染は確認されなかった。

また、工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

(イ) 地下水及び大気への影響の可能性の有無

工事の着手前に実施した土壌汚染状況調査の結果、土壌溶出量及び土壌含有量ともに定量下限値を下回っていたほか、工事の実施に伴い新たな土壌汚染は確認されなかった。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。